

(専門基礎分野)

授業科目	公衆衛生	講師	外部講師	単位数
				2
学習目標	1.国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する。			時間数
				30
				学年
				2
				時期
回数	主 題	学 習 内 容	授業方法	講師
1～2	健康と公衆衛生	1.健康の定義 2.公衆衛生の定義 3.公衆衛生のあゆみ 4.健康を守るしくみ 5.健康格差と社会経済格差 6.ヘルスプロモーション	講義	外部講師
3～4	疫学と健康に関する指標	1.保健統計の基本的な考え方 2.人口の動向 1)静態統計、動態統計 3.人口の動向把握と必要な指標 1)生命表 2)平均余命・平均寿命 3)健康寿命 4)疾病統計	講義	
5～6	環境と公衆衛生	1.人間と生活環境 1)人間と生活環境の関係性 2.健康問題と環境 1)食品保健 2)大気汚染 3)土壌汚染・海洋汚染 4)廃棄物 5)地球環境(温暖化・酸性雨) 6)住居環境 7)水道 8)放射線・放射能	講義	
7	保健行政	1.地域保健 2.地域保健活動の基盤となる法律・制度 3.保健所・保健センターにおける活動	講義	
8～11	公衆衛生の対象と活動	1.母子保健 2.学童期の健康管理 3.成人保健、生活習慣病予防 4.高齢者保健福祉 5.感染症とその予防 6.職場の健康保健 7.精神保健福祉 8.障害児・者保健福祉 9.歯科保健 10.災害保健 11.国際保健	講義	

12・13	疾病予防と疫学調査法	1.疫学 1)疫学とは 2)疾病発生要因の考え方 3)疫学調査 4)疫学指標 2.疾病予防 1)予防とは 2)健康診断・審査 3)健康教育 4)感染性疾患の対策 5)非感染性疾患の対策	講義	
14	難病対策	1.難病の定義 2.難病患者数 3.難病保健活動に関する法律 4.地域支援システム 1)生活支援・療養支援 2)就学支援 3)就労支援 4)家族支援 5)医療支援	講義	
15	評価	単位認定試験（45分） まとめ		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 国民衛生の動向	